7.5 サウンドデモ弾圧弾劾！
3 人の即時釈放を！

2008 年 7 月 15 日

反 G8 サミット北海道（アイヌモシリ）連絡会

7 月 5 日、札幌市街で「チャレンジ・ザ G8 サミット 1 万人のピースウォーク」が開催され、国内外から多くの人々が参加し、G8 サミットに対する抗議行動を行いました。

しかし警察権力は、G8 サミットへの批判の高まりに恐怖し、民衆の更なる決起を圧殺せんとする明確な意思をもって、4 人の参加者を逮捕しました。

そして、今なお 3 人が不当にも勾留されたままです（メディア関係者 1 名は処分保留で釈放）。

私たち反 G8 サミット北海道（アイヌモシリ）連絡会は、警察の過剰警備を G8 サミット開催前から身をもって感じてきましたし、また批判を行ってきました。

今回についても、何より警察による過剰警備は目に余るものでした。機動隊を仰々しく並べ立て、警察車両から我鳴り立てる。民主主義の根幹にある権利＝「表現の自由」に基づいて行われているデモがなにか「怖いもの」であるように喧伝し、街行く市民との分断を図ろうとするものです。

逮捕容疑にしても「道路交通法違反」「札幌市公安条例違反」「公務執行妨害」などをでっち上げ、デモが「悪い人」かのように仕立てあげようとしています。しかし、今回逮捕された人々は許可を受けた条件に基づいてデモを行っていたのであり、違反行為はありません。むしろ無法を犯していたのはほかならぬ警察です。容疑を明らかにせぬまま DJ を拉致し、サウンドカーを数十人で襲撃しガラスや機材を破壊、さらには運転手に怪我を負わせています。

私たち連絡会は警察権力の横暴・不当弾圧を徹底弾劾します。

そして、現在も勾留されている 3 人を、今すぐ釈放することを求めます。